授業科目名	情報システムの実例	大学名	帝京大学
科目区分	VU 連携講座	開講時期	2016 年度前期
学部·学科等	理工学部 ヒューマン情報システム学科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	未定(~)
標準対象年次	3年次	授業形態	講義 e ラーニング(遠隔)でも受講可能
単位数	2 単位	授業会場	帝京大学
担当教員名	渡辺博芳,水谷晃三		
電話番号(代表	028-627-7111	e-mail アドレ	hiro@ics.teikyo-u.ac.jp
者名)	ヒューマン情報システム学科	ス	(渡辺博芳)
	渡辺博芳		
オフィスアワー	表定 a ラーニングの場合は学習管理システム(LMS)上の掲示板で対応します		

〈授業の目標及びねらい〉

本科目の学習目標は、実社会においてどのような情報システムが構築されているのか、 それらの仕組みはどのようになっているのかについて、いくつかの具体例を理解すること です。そのような具体的な情報システムを開発するために必要なスキルについて考えられ るようにすることも目指します。

〈前提とする知識・経験〉

特になし。

〈授業の具体的な進め方〉

この科目では知識を系統的に学ぶのではなく、多くの実例を知るために各回完結のオム ニバス形式で講義を進めます。実社会の実例について学ぶために、講義の多くで企業から の講師を招聘します。一部は、栃木県情報サービス産業協会(TISA)との連携によります。 この授業専用のノートを用意してください。最後の授業(第 15 回)で提出してもらいま す。提出されたノートは後で返却します。また、毎回の講義後に講義で学んだことをブロ グに投稿してもらいます。

## 授業の概要

e ラーニングで受講する場合には帝京大学学習管理システム LMS にアクセスして、講義 ビデオを視聴し、講義で学んだことを LMS 上のブログに投稿します。ノート提出は郵送し てもらいます。具体的には LMS 上で指示します。

〈授業計画〉

- 第1週 イントロダクション・情報システムとは
- 第2週 昨今のセキュリティ事情
- 第3週 製造業における情報システム
- 第4週 金融機関における情報システム
- 小売業における情報システム 第5调
- 第6週 物流における情報システム
- 第7週 農業における情報システム
- 第8週 鉄道におけるICカード電子乗車券
- 第9週 人事・会計・給与における情報システム
- 第 10 週 情報通信技術の進展と先端技術
- 第11週 医療情報と情報システム
- 第12週 医療情報とデータ構造
- 第13週 IT業界の実際と情報システム開発の仕事
- 第14週 Web 業界の現状と今後
- 第15週 まとめ (最終レポートを作成して提出します)
  - ※ 企業から講師を招聘するため、順序の入れ替えやテーマの変更があり得ます。 〈教科書・参考書・教材と入手方法〉

教科書参考書はありません。資料を配布する週があります。教材の一部は帝京大学の LMS に掲載します。受講者には LMS のユーザ ID を発行します。

〈成績評価法〉

毎回の講義のノート(30%)、ブログ(30%)、および最終レポート(40%)を総合して成績を 判定します。